

令和7年度 学校評価自己評価表〔年度末〕

三次市立川西小学校

教育目標	塩町中学校区	『確かな学力を身に付け、他者との関わりを通して、自らを伸ばそうとする子供の育成』	ミッション	確かな学力を身に付け、ふるさと川西を愛し、地域創生に参画していく生きる力を備えた人づくりを行い、地域の活性化に貢献する学校をめざす。
	川西小学校	『自ら学び、友と関わり、未来を拓く』 ～ふるさと川西を愛し ともに きたえ みがき のびる～	めざす子ども像	○ともにきたえ合う子 ○ともにみがき合う子 ○ともに伸び合う子

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組み・方策	評価指標・目標値	担当	評価		目標達成状況	次年度への改善策
						中間	最終		
確かな学力の定着	■主体的・対話的で深い学びにより学力の向上を図る。	□基礎基本の定着	○「読み、書き、計算」の定着に ICT 機器、帯タイムや家庭学習の活用	○市販の学期末まとめテストにおいて、「読み・書き・計算」等の「知識・技能」の正答率80%以上の児童の割合 85%以上	教務部	4	4	○漢字の読み書きの達成者数18人 計算の達成者数17人のべ合計35名の達成数。全36名97%の達成。(達成度 114.1)	○漢字テストや計算テストを定期的に行い、その結果に応じて、短時間の補充学習や再テストを実施した。ドリルタイムや算数タイムの充実を一層図り、学力を高めていく。
		□自分で考え、友と関わり合いながら学ぶ力の向上	○へき地・小規模校の特性を活かした「川西モデル」算数科授業づくりの研究	○算数科市販テストの学期末のまとめテストにおいて、「思考・判断・表現」の正答率 75%以上の児童の割合 80%以上 ○教師アンケート(4段階評価)の「学習リーダーの育成」「ファシリテーター役の実行」に係る項目の平均値 3.0 以上		4	4	○算数科の学期末テストの「思考・判断・表現」の達成者数16名88%の達成。(達成度 110) ○教師アンケート「学習リーダーの育成」の平均値3(達成度 100)「ファシリテーター役の実行」の平均値 3.33(110)	○定着を図るために再テストを定期的に行い、より理解を深める。 ○算数科の研究に向けて、下記2点について、今後、研究を進めていく。 ①学習リーダーの系統的な育成 ②ファシリテーターの具体的な役割
		□多様な表現形式を用い、自分の考えを表現する力の向上	○多様な作品コンクール等への応募	○習字、俳句、短歌、作文、写生画等の作品を積極的に応募(1人年7本以上)し、かつ、新聞掲載や表彰された児童の割合 84%以上(中間は作品応募数のみで評価し、1年生を除いて1人3本以上。)		4	4	○作品応募年7本以上、かつ、新聞掲載等された児童の割合 92% (達成度 109.5)	○表現力及び自己肯定感を高める一つとして、俳句等の作品作りと応募を、次年度も継続して取り組む。
豊かな心の育成	■他者に感謝し、思いやりの心をもって行動する力を育てる。	□相互に認め合える学校・学級づくり	○お互いのよさを認め合える活動の推進 ・学校～児童会による褒め合い活動 ・学級・友達のよい所を見つけ活動 ・職員・機を逃さず、褒め、認め、励ます。	○総合質問紙調査の自己肯定感に係る4項目の肯定率 85%以上(6月、11月、2月に調査) ・自分のよさの自覚 ・努力して嬉しい ・得意なことがある ・認められている	生活保健部	4	4	○「自分のよさの自覚」95.0% 「得意なことがある」91.0% 「努力して嬉しい」95.0% 「認められている」86.0% 平均 92.4% (達成度 108.7)	○道徳の時間や学級活動、帰りの会などの様々な場面で、お互いのよさを認め合えるような活動を取り入れ、自己肯定感・自己有用感の向上を目指す。 ○教師による「褒める」「認める」「励ます」声掛けも継続して行う。
		□相手や場に応じた挨拶や返事をする習慣の確立	○「レベル3」の挨拶と気持ちのよい返事の指導と肯定的評価の声かけ	○生活アンケートで「レベル3以上の気持ちのよい挨拶をしている」の肯定率 85%以上		4	3	○「レベル3以上」と評価した児童の割合 73.9% (達成度 86.9)	○児童会による定期的な「朝の挨拶運動」を継続して行う。
たくましい体の育成	■健康に関心を持ち、元気でたくましい心と体を作り、体力の向上を図る。	□基本的な生活習慣の確立	○日常的家庭との連携 ○設定した生活習慣確立週間の前後や機をとらえた学級指導、朝会での全校指導	○生活習慣アンケートで「翌日学校がある日の早寝」の達成率 80%以上	生活保健部	3	4	○「翌日学校がある日の早寝」達成率 92.0% (達成度 115.0)	○睡眠について、朝会時を利用し保健指導を行う。
		□体力・耐力の向上	○体育で柔軟性を高める運動の実施 ○朝の会で基礎体力運動の実施	○新体力テストの長座体前屈において、全国平均を上回る児童 60%以上(昨年度 46.2%) (5月、7月、9月、12月に調査)		4	4	○「長座体前屈」において、全国平均を上回った児童 91.0% (達成度 151.6)	○体育の授業で、柔軟性と筋力を高める運動に継続して取り組む。 ○朝の会での体力づくりを継続する。
信頼され、地域とともにある学校	■地域と学校の相互の連携と協働に努め、「信頼される学校」「地域とともにある学校」づくりを推進する。	□地域・家庭や保小中高と連携・協働した教育活動の推進	○コミュニティ・スクールで設定した身に付けさせたい資質・能力の共有化と意識化 ○保・小・中・高合同活動や地域に学ぶ教育活動の実施 ○HP や学校だより等で積極的な情報発信	○中学校区 CS で育成したい【表現力】【協働性】【主体性】に係る総合質問紙調査の評価項目の平均肯定率 85%以上(対象:3～6年生) ○保・小・中・高合同活動を年5回以上、地域に学ぶ教育活動を全学級で実施 ○保護者アンケート「情報発信」「家庭との連絡・連携」の肯定率 85%以上	全職員	4	4	○「表現力」93.3%「協働性」80.0%「主体性」88.9%平均 87.4%(達成度 102.8) ○「合同運動会」「ふれあいまつり」(地域・保・小)、「6年交流授業」(小高)、「保育所訪問」(保小)、「プログラミング教室」(小高)、「茶畑見学」等(低学年)、「水辺の教室」等(中学年)、「昔の農業体験学習」等(高学年)等 年間8回以上 ○保護者アンケート「情報発信」100%、「家庭との連絡・連携」100%(達成度 117.6)	○3つの資質・能力を、算数科の研究等の様々な教育活動の中で意識し、全職員で指導、評価していく。 ○次年度も教育課程に連携教育や地域に学ぶ教育活動を教育課程に位置付け、計画的に実施する。 ○次年度も全保護者に満足して頂くよう迅速で丁寧な組織対応、積極的な情報発信を行っていく。
		□働き方改革の推進	○校務のデジタル化の推進 ○学校衛生委員会等による業務改善の熟議と実施	○時間外勤務時間の昨年度比を+5%以下に抑制		4	4	○時間外勤務時間の昨年度比 -29.5%縮減 (2月末時点)	○来年度も、見通しを持った業務遂行や分掌内での協力体制を継続する。

【評価】 4 : 100 ≦ (目標達成) 3 : 80 ≦ (目標を概ね達成) < 100 2 : 60 ≦ (目標をやや下回る) < 80 1 : (目標を大幅に下回る) < 60 達成度 = 達成値 / 目標値 × 100